

道 徳

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新編 新しい道徳
17	教	出	小学道徳 はばたこう明日へ
38	光	村	道徳 きみが いちばん ひかるとき
116	日	文	小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート
208	光	文	小学道徳 ゆたかな心
224	学	研	新版 みんなの道徳

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例
		②	発問の示し方	学年、主題名、数、掲載箇所及び発問
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習過程の示し方、教材名・内容項目、学習過程
		④	体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	分量や教材の数	判型、ページ数、4つの視点ごとの教材数
		⑥	現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめの問題の扱いと教材等の例
(エ)	内容の表現・表記	⑦	巻頭、巻末等の取扱いの工夫	巻頭、巻末等の示し方
		⑧	教材の内容を理解させる工夫	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨	考えを伝え合う活動の工夫	話し合いを促す示し方と具体例
		⑩	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの数等と具体例

【道徳】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①道徳科の学び方等の示し方
方法	オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例

		第4学年		
		タイトル	示し方	記載例
東書		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくの学習を始めよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「なにを学ぶのかな？」 ・「どんな学びをするのかな？」 ・「ちょっと話し合ってみよう！」 ○ 「デジタルコンテンツで学びを広げよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉や教材名等を示している。 ○ 見開き2ページに、「気づく」「考える」「広げる・深める」の3つで学習の流れを示している。また、ページ下には、「こんな学び方もあるよ」として「えんじて考えよう」「問題を見つけて考えよう」を示している。 ○ 1ページに、ミニ教材を基に、話し合う際の言葉の例等を示している。 ○ 1ページに、「3つのコンテンツがあるよ」「ほかにもコンテンツがあるよ」として、コンテンツの利用方法等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分のこと」 <ul style="list-style-type: none"> ・正しいと思うことは ・いっしょになって、わらっちゃだめだ ○ 「どうとくの学習では、さまざまなお話から、心について考え、自分の心をゆたかにしていきます。さあ、どうとくの学習を始めましょう！」 ○ 「「あれっ? どうしてかな?」気づいたことはどんなことですか。」 ○ 「お話に出てくる人になりきって、言葉や動きをそうぞうしましょう。」 ○ 「わたしだったら……。」 ○ 「左のようなコードから、教科書の学びを広げるさまざまなコンテンツをりようすることができます。」
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳で学習すること」 ○ 「道徳ではこんな学び方をするよ」 ○ 「道徳の学習をもっと広げよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、主題名や教材名等を示している。 ○ 見開き2ページに、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「今日の学習を自分でふり返ってみよう。」の4つを示している。「考えよう」の中に、「話し合って考えよう」「えんじて考えよう」「書いて考えよう」の3つを示している。 ○ 見開き2ページに、「まなびリンクを活用しよう」「タブレットを学習に生かそう」として、二次元コードやタブレットの活用方法等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分のこと」 <ul style="list-style-type: none"> ・見て見ぬふりはしない ・ほっとけないよ ○ 「今日はどんなことについて考えるのか、たしかめてみよう。」 ○ 「教材を読んで、登場人物の気持ちや行動などから、よりよく生きるうえで大切なことについて考えよう。」 ○ 「グループやクラスで話し合っていて、自分の考えと同じところやちがうところ、友達の意見を聞いて気づいたことなどをもとに、自分の考えを見直してみよう。」 ○ 「二次元コードにアクセスすると、学習に役立つじょうほうをウェブサイトで見ることができます。学校のルールを守って利用しましょう。」

【道徳】

第4学年			
	タイトル	示し方	記載例
光 村	○ 「道徳が始まるよ」	○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉等を示している。	○ 「自分について」 ・正しいと考えたことを、どうどうと行う ○ 「四年生の道徳が、始まるよ。いっしょに考えていこうね。」 ○ 「話している人が何を言いたいかを、考えながら聞こう。」
	○ 「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」 ○ 「道徳みちあんない」	○ 見開き2ページに、「こつ1」「こつ2」「こつ3」「やってみよう」と対話を進めるポイント等を示している。 ○ 見開き2ページに、1年間に学ぶ教材名やユニットの位置、発問や呼び掛け等をキャラクターとともに示している。	○ 「②目覚まし時計」 ○ 「友だち一人一人を大切にするって、どういうことだろう。」 ○ 「1年間の流れを、いっしょにたしかめよう。」
日 文	○ 「道徳のとびら」 ○ 「道徳の学び方」	○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉等を示している。 ○ 見開き2ページに、「1気づく」「2考える・深める」「3見つめる・生かす」の3つをイラストや写真等とともに示している。	○ 「自分」 ・正直な心 ・「道徳」では、よりよく生きるためにたいせつなことについて、みんなで考えるよ。」 ○ 「すてきだと思ったことや、気になったことはあるかな。」 ○ 「気づいたことを友達と話し合っ、自分の見方を広げ、考えを深めよう。」 ○ 「自分を見つめて、これからの生き方に生かしたいことは何か、考えよう。」

第4学年			
	タイトル	示し方	記載例
光 文	○ 「ゆたかな心」	○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉等を示している。	○ 「自分のこと」 ・正しいと思うことを自信をもって ○ 「道徳の授業を通して、自分を見つめ直すきっかけをつくることができます。自分で考え、友だちと話し合うことで、当たり前と思っていた見方がかわります。見方がかわると、見える世界がかわってきます。ちょっとすてきな自分に出会う旅に出かけるみたいですね。その旅は、きっと、みなさんの生活をよりよくなかえていってくれるでしょう。」 ○ 「なぜだろう」「どうしてだろう」という気持ちを大切に、教科書や生活の中から、問いを見つけましょう。
	○ 「道徳の時間は、こんな時間です」	○ 見開き2ページに、学習の流れを「問いをみつけよう」「考えよう」「まとめよう・ふりかえろう」「ひろげよう・つなげよう」の4つで示している。	○ 「じゅんじょ立てて考える(矢印・曲線)」
	○ 「いろいろなやり方で考えてみよう」	○ 見開き2ページに、考えを整理したり、まとめたりする方法を図やイラスト等とともに示している。	○ 「思ったことを安心して質問できるよ。」
	○ 「話し合っって考えてみよう」	○ 1ページに、「こんないいことがあるよ」「こんなときに使おう」「言葉のカード(対話ツール)にはこんなものがあるよ」と示している。	○ 「学習した日づけとお話番号とタイトルを書きましょう。」 ○ 「授業の後の気持ちを矢印で表しましょう。」
学 研	○ 「まとめよう・ふりかえろう」	○ 1ページに、「ノートを使おう」「学びの足あと」を使おう」と示している。	○ 「学習した日づけとお話番号とタイトルを書きましょう。」 ○ 「授業の後の気持ちを矢印で表しましょう。」
	○ 「つながるわたし 広がるわたし」	○ 見開き2ページに、「しょう来のゆめ」「大切なもの」「夢中になっていること」「自分の好きなどころ」の4つについて書く欄や現代的課題マーク等を写真やイラストともに示している。	○ 「さまざまなテーマで学び自分を広げよう。」 ○ 「いのち」
	○ 「大きな心を育てよう」	○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉と教材名を示している。	○ 「わたしのこと」 ・正しいことは自信を持ってしよう ・クラスたいこう全員リレー ○ 「心の四つのとびらを開いて自分を見つめる時間です。」 ・自分のとびら ○ 「登場人物になりきって考えてみよう。」 ・えんじている人を見ながら自分の考えを見つけてもいいね。
	○ 「道徳の学習が始まるよ」	○ 見開き2ページの上段に、「自分」「人」「社会」「命や自然」の4つの視点等を示している。また、見開き2ページの下段に、「自分を見つめ深めるポイント」として「1お話をもとに考えよう。」「2話し合いを高め合おう。」「3自分を見つめ深めよう。」の3つをイラスト等とともに示している。	

【道徳】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②発問の示し方
方法	学年、主題名、数、掲載箇所及び発問

		教材名「ブランコ乗りとピエロ」		内容項目「B 相互理解、寛容」	
		学年	主題名	数	掲載箇所及び発問
東 書	5	○ わかり合うために	4	<p><教材文の終わり></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 分かり合うために大切なことは？ ○ ピエロの心からサムをにくむ気持ちが消えたのはどうしてでしょう。 ○ 相手の意見が自分とちがったとき、あなたはどうしますか。 ○ ピエロの話をうつむいて聞いていたサムは、どんなことを考えていたでしょう。サムの気持ちについても話し合ってみましょう。 	
	6	○ 広い心をもって	6	<p><冒頭の教材名の下></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分とはちがう考え方を受け入れることって難しいよね。 <p><教材文の終わり></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サムの長い演技が終わり、大王アキレスがサーカス小屋から帰ったあと、舞台へ向かうピエロは、どのような気持ちだったでしょう。 ○ ピエロの心から、サムをにくむ気持ちが消えてしまったのは、どうしてでしょう。 ○ どうしてピエロの気持ちが変わったのかな。 ○ これまで、友達と意見が対立したとき、どのように解決してきましたか。ふり返って話し合いましょう。 ○ 自分が正しいと思う意見を相手が受け入れてくれないと感じたとき、どのように考え、行動しようと思いますか。また、それはどうしてですか。 	

		教材名「ブランコ乗りとピエロ」		内容項目「B 相互理解、寛容」	
	学年	主題名	数	掲載箇所及び発問	
光村	5	○ 分かり合うために	8	<p><冒頭の教材名の下></p> <p>○ 他の人の言動を、許せないと思うとき、君は、どうするかな。</p> <p><教材文の終わり></p> <p>○ 考えのちがう者どうしが関わり合ってくるためには、どんな心が必要なのだろう。</p> <p>○ 約束の時間をこえて演技を続けるサムを見ながら、ピエロは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>○ ピエロのサムに対する気持ちは、どうして変わったのでしょうか。</p> <p>○ 団員たちの明るい笑い声に包まれた最終日がむかえられたのは、サムとピエロ、そして団員たちの心が、どのように変わったからでしょう。</p> <p>○ 次の「㊦だれもが幸せになれる社会を」を学んだら、146ページ「子どもの権利条約」を読んで、だれもが幸せに生きるために大切なことは何か、さらに考えを深めよう。</p> <p>○ サムのすがたを何度も何度も思い出しているときのピエロは、どんな気持ちだったでしょう。グループで、サムを「許す」「許さない」、それぞれの立場に立って、理由を出し合ひましょう。</p> <p>○ ピエロが、「許さない」ではなく、「許す」ほうを選んだことについて、グループのみんながそうだなと思える理由は何か、話し合ひましょう。</p>	
日文	6	○ 広く受け入れる心	3	<p><冒頭の教材名の下></p> <p>○ 自分と意見や考えが合わない人に対して、どんなことを思いますか。</p> <p><教材文の終わり></p> <p>○ ピエロの心の中からサムをにくむ気持ちが消えたのは、どんな考えからだろう。</p> <p>○ 広く受け入れられる心をもつためには、どんな考えがたいせつかな。</p>	
光文	6	○ 広い心で	5	<p><冒頭の教材名の下></p> <p>○ 「広い心」とは、どのような心のことをいうのだろう。</p> <p><教材文の終わり></p> <p>○ ピエロの心の中から、サムをにくむ気持ちが消えたのは、どうしてかな。</p> <p>○ サムとピエロの関係は、どのように変わったのだろう。</p> <p>○ 「広い心」とは、どんな心だろう。学習したことをまとめよう。</p> <p>○ みんなが「広い心」で行動したら、どんなクラスになるか、考えて発表してみよう。</p>	
学研	6	○ 分かり合う喜び	2	<p><教材文の終わり></p> <p>○ ピエロとサムの関係は、どのように変わったのだろう。また、そのように変えたものは何だろう。</p> <p>○ あなたなら自分と考え方の違う友達とつきあうとき、何を大切にするだろう。</p>	

【道徳】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③問題解決的な学習を取り入れた工夫
方法	問題解決的な学習過程の示し方、教材名・内容項目、学習過程

第6学年			
	問題解決的な学習過程の示し方	具体例	
		教材名・内容項目	学習過程
東書	○ 「問題を見つけて考えよう」を設け、「どんな学びをするのかな？」に該当ページを示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「修学旅行の夜」 ○ 「A 善悪の判断、自律、自由と責任」	○ 「問題を見つけて考えよう」 「気づく」 ・あなたにとって「自由」とはなんですか。 「考える」 ・修学旅行の夜、人にめいわくをかけないようにおしゃべりすることは、「自由」か「自分勝手」のどちらでしょうか。理由も考えてみましょう。 ・自由と自分勝手のちがいはなんでしょうか。 「広げる・深める」 ・自分をふり返ってみて、自由ではなく自分勝手だったことはないでしょうか。
教出	○ 「問題を解決しよう」を設け、目次にマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「〇〇しながら」 ○ 「A 節度、節制」	○ 「問題を解決しよう」 「問題を見つける」 ・3つのできごとでは、それぞれ何が問題になっていますか。 「解決方法を考える①」 ・3つのできごとの登場人物の行動について、どのように思いますか。 「解決方法を考える②」 ・3つのできごとを比べると、どのようなちがいが見られますか。共通点、異なる点、問題の重さについて話し合しましょう。 「考えたことを生かす」 ・3つのできごとの問題について考えたことを、今後の生活にどのように生かしていきたいですか。自分の生活態度と比べながら見つめ直しましょう。
光村	○ 「考えよう・話し合おう」「つなげよう」において、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「六年生の責任って？」 ○ 「C よりよい学校生活、集団生活の充実」	○ 「考えよう・話し合おう」 ・あなたが「ぼく」のクラスの一員だったら、どうすればよいと思いますか。次のステップに沿って、考えていきましょう。 「何が問題になっているのか、明らかにする。」 ・今、学校は、どのような状態なのか。 「目ざす姿・状態をイメージする。」 ・学校を、どのような状態にしたいのか。 「どうすれば、目ざす姿に近づけるかを考える。(解決策を考え、結果を想像する。)」 ・三人の意見の結果を想像する。 ・目ざす姿に近づくために、どうするか。(解決策) 「考えたことがよりよいものを検討する。」 ・それぞれが考えたことを出し合い、六年生にも下級生にも望ましい状態にするためには、どうすればよいか、話し合しましょう。 ・六年生の責任を果たすために大切なのは、どんな考えだと思いますか。 「つなげよう」 ・先生や上級生のおかげで、気持ちよく生活できていたと思うことはあるかな。よりよい学校を目ざして、自分にどんなことができるか、考えてみよう。

第6学年			
	問題解決的な学習過程の示し方	具体例	
		教材名・内容項目	学習過程
日 文	○ 「ぐっと深める」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「自分を守る力って？」 ○ 「A 節度、節制」	○ 「ぐっと深める」 ・それぞれの場面で自分を守るためにはどんな力が必要だろう。みんなで考えてみよう。 ①中学生たちにお金を貸してほしいと言われたとき、ヒデキはどんなことを思ったでしょう。 ②こんなことが起こらないために、ヒデキはどんなことを考え、判断し、行動すればよかったのでしょうか。 ③①～④の場面から一つ選んで、どんなことを考え、判断し、行動することがたいせつだったのか、考えてみましょう。 ④それぞれの場面で必要な力はどんな力でしょう。それが自分を守ることにつながる理由を考えてみましょう。
光 文	○ 「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」を設け、巻頭及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「修学旅行の自由行動」 ○ 「B 相互理解、寛容」	○ 「かんがえよう」 ・一回目と二回目の話し合いのちがいは何だろう。 ・「わたし」（黒羽さん）は、どうして、このメンバーなら心の底から修学旅行が楽しめると感じたのだろう。 「まとめよう」 ・話し合いの中でちがいが分かり合うために、大切なことは何かな。 「ひろげよう」 ・考えたことを、話し合いの中で実行してみよう。
学 研	○ 「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「未来への裁判」 ○ 「C 公正、公平、社会正義」	○ 「深めよう」 「つかもう」 ・ルースは、あらゆる差別をなくすためにたたかい続けました。差別とたたかい続けたルースの生き方についてどう思いますか。 「探そう」 ・ルースは「勝てるはずがない」と言われた裁判を、なぜたたかったのだろう。 「ふみ出そう」 ・今もお、社会にはたくさんの差別が存在しています。差別のないよりよい社会を築くためにはどんな思いや考えが大切でしょうか。 「活動」 ・「ふみ出そう」で思いや考えの中で、これから心に留めておきたいことに印を付けてみましょう。

【道徳】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④体験的な学習を取り入れた工夫
方法	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例

	体験的な学習の扱い	具体例 (第3学年)	
		教材名等・内容項目・ 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例
東 書	○ 「演じて考えよう」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促している。	○ 「みさきさんのえがお」 ○ 「C 公正、公平、社会正義」 ○ すぐに返事ができなかった「ぼく」の考えを演じたり、演技を見たりして考える活動	○ 「えんじて考えよう」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。 ・えんじて考えましょう。 すぐにへんじができなかった「ぼく」は、なにを考えていたでしょう。 ・えんじたり、えんぎを見たりして気がついたことを、つたえ合いましょう。
教 出	○ 「やってみよう」のコーナーを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、「たいけん」マークを目次に示している。	○ 「悪いのはわたしじゃない」 ○ 「A 正直、誠実」 ○ 自分が「わたし」だったら何と声をかけるか演じて考える活動	○ 「やってみよう」のコーナーに発問を示し、役割演技を促している。 ・自分が「わたし」だったら、れなになんと声をかけますか。「わたし」の役になってえんじてみましょう。 ・えんじた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。発表してみましょう。
光 村	○ 「演じて考えよう」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、該当ページを目次に示している。	○ 「教えてあげる？持っ てあげる？」 ○ 「B 親切、思いやり」 ○ 荷物を持つように頼まれた「わたし」の気持ちを、演じたり演技を見たりして考える活動	○ 「えんじて考えよう」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。 ・②の場面の「わたし」とみきちゃんを、えんじてみましょう。 ・えんじている人の表じょうやしぐさをよく見、言っていることをよく聞いて、人物の気持ちや思いを話し合いましょう。 ・えんじた人は、えんじていたときの気持ちをつたえましょう。

	体験的な学習の扱い	具体例 (第3学年)	
		教材名等・内容項目・ 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例
日 文	○ 「ぐっと深める」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、マークを目次及び該当ページに示している。	○ 「お母さんのせいきゅう書」 ○ 「C 家族愛、家庭生活の充実」 ○ お母さんが伝えたかったことはどんなことかを、お母さんを演じることを通して考える活動	○ 「ぐっと深める」のページにイラストや写真とともに発問等を示し、役割演技を促している。 ・お母さんがだいすけにつたえたかったのは、どんなことだろう。お母さんになって、えんじてみよう。 ・お母さんは、どんなことを考えながら、だいすけへのせいきゅう書を書いているでしょう。 ・お母さんからのせいきゅう書を読んだだいすけの目が、なみだでいっぱいになったのはどうしてでしょう。 ・となりどうしやグループで話し合ひましょう。
光 文	○ 「みんなでやってみよう！」のコラムを設け、実際の問題場面を想定した体験的な学習を促す教材を掲載するとともに、マークを目次及び該当ページに示している。	○ 「ことばのキャッチボール」 ○ 「B 相互理解、寛容」 ○ 相手の気持ちも考えた言葉を伝えるには、どうしたらよいかをやってみて考える活動	○ 「みんなでやってみよう！」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。 ・ことばはキャッチボール。「ナイスボール」(相手の気持ちも考えた言葉)をなげるには、どうしたらよいか考えてみましょう。 ・ 1 と 2 はどちらが「ナイスボール」でしょうか。 ・ 4 を友だちどうしでやってみましょう。 ・「ことばのキャッチボール」をやってみて、どんなことに気づきましたか。
学 研	○ 「心のパスポート」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、該当ページを目次に、マークを該当ページに示している。	○ 「貝がら」 ○ 「B 友情、信頼」 ○ 友だちになるために大切なことを、「ぼく」と中山君の役を演じて考える活動	○ 「心のパスポート」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。 ・病気がなおった「ぼく」が学校で中山君に会ったときの場面を、想ぞうしてえんじましょう。 ・自分なら中山君に何を話すか、考えてみましょう。 ・考えたことを、話し合ひましょう。

【道徳】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量		
視点	⑤分量や教材の数		
方法	判型、ページ数、4つの視点ごとの教材数		

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	4つの視点ごとの教材数			
				A	B	C	D
東 書	第1学年	A B	146	10	9	9	6
	第2学年		162	11	8	10	6
	第3学年		178	8	9	11	7
	第4学年		180	9	8	11	7
	第5学年		188	9	7	12	7
	第6学年		196	8	7	12	8
教 出	第1学年	A B	161	10	8	12	4
	第2学年		161	11	8	12	4
	第3学年		169	9	9	12	5
	第4学年		169	9	10	10	6
	第5学年		185	10	6	13	6
	第6学年		185	8	8	12	7
光 村	第1学年	B 5 変型	135	10	8	11	5
	第2学年		167	10	8	11	5
	第3学年		185	9	9	11	5
	第4学年		193	9	9	11	5
	第5学年		197	10	9	9	6
	第6学年		213	8	9	10	7
日 文	第1学年	A B (A B)	154 (46)	11	8	13	5
	第2学年		170 (46)	11	9	12	6
	第3学年		186 (46)	11	10	12	5
	第4学年		190 (46)	9	10	13	6
	第5学年		186 (46)	9	10	13	6
	第6学年		194 (46)	10	9	13	6

【道徳】

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	4つの視点ごとの教材数			
				A	B	C	D
光 文	第1学年	A B	162	11	9	13	7
	第2学年		178	10	10	13	7
	第3学年		186	10	11	12	7
	第4学年		190	8	11	14	7
	第5学年		194	9	8	14	9
	第6学年		194	9	8	15	8
学 研	第1学年	A B	142	11	8	9	6
	第2学年		150	12	8	9	6
	第3学年		158	9	9	11	6
	第4学年		166	9	9	11	6
	第5学年		162	9	8	10	8
	第6学年		170	9	8	11	7

【備考】全ての発行者に掲載されている教材 ※発行者によって教材名が異なる場合、複数を提示している。

教材名	学年	教材名	学年
かぼちゃのつる	第1学年	はしの上のおおかみ	第1学年
二わの小鳥	第1学年	金のおの 金のおの ぎんのおの	第1・2学年
七つの星 ひしゃくぼし 七つぼし	第1・2学年	ブラッドレーのせい求書 お母さんのせい求書	第3・4学年
花さき山	第3・4学年	雨のバス停留所で	第4学年
手品師	第5・6学年	ブランコ乗りとピエロ	第5・6学年

【道徳】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方法	いじめの問題の扱いと教材等の例

	いじめの問題の扱い	教材等の例 (第5学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材等と扉ページの構成でユニット化した「「いじめ」についてかんがえよう」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、目次に色付けし、「「いじめ」についてかんがえよう」の扉ページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうすればいいんだ」 ・ 内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・ 公正、公平な態度で行動するために大切なことについて考えさせる教材 ○ 子どもの権利条約(コラム) ○ 「心のレシーブ」 ・ 内容項目「B 友情、信頼」 ・ チームやグループで活動するときに大切なことについて考えさせる教材
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめをなくす」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、マークを目次及び該当ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉のおくりもの」 ・ 内容項目「B 友情、信頼」 ・ みんなが力を合わせていけるようにするためには、どのようなことが大切かを考えさせる教材 ○ 「SNSいじめ」 ・ 内容項目「A 善悪の判断、自律、自由と責任」 ・ いじめの相談について考えさせる教材 ○ 「ひとりでかかえこまないで！」(コラム)
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめを許さない心」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、マークを目次及び該当ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんな、おかしいよ！」 ・ 内容項目「B 相互理解、寛容」 ・ 相手と理解し合うためにはどんなことが大切かを考えさせる教材 ○ 「ドッジボール対決」 ・ 内容項目「B 友情、信頼」 ・ 互いに高め合う友情とはどんなものかについて考えさせる教材 ○ 「おたがいを大切にしよう」(コラム)

【道徳】

	いじめの問題の扱い	教材等の例 (第5学年)
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした複数の教材とコラムの構成でユニット化した「人との関わり②」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまともには、「人との関わり（いじめをなくすために）」マークを使い目次に示し、目次に色付けしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「真由、班長になる」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C よりよい学校生活、集団生活の充実」 ・みんなが気持ちよく集団生活をするために大切にしたい心構えについて考えさせる教材 ○ 「名前のない手紙」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会主義」 ・集団の中で正義を実現するにはどんなことが大切かについて考えさせる教材 ○ いじめは止められる！（コラム） ○ 「折れたタワー」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解、寛容」 ・相手が失敗したときに広い心で許すことの大切さについて考えさせる教材
光 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材と扉ページの構成でユニット化した「いじめを生まない心」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまともには、「いじめを生まない心」マークを目次及び扉ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「クラスの雰囲気、これでいいの」（扉ページ） ○ 「ドッジボールを百倍楽しくする方法」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情、信頼」 ・「よい友だち」とは、どのような友だちかを考えさせる教材 ○ 「光輝の告白」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・いじめにつなげないために、どんなことが大切かについて考えさせる教材
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした複数の内容項目の教材を特設ページとともに配置している。 ○ いじめの問題を扱う教材には、「いじめ防止」マークを使い、目次と該当ページに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「すれちがい」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解、寛容」 ・互いの心がすれ違わないようにするためには、どのような思いが大切かについて考えさせる教材 ○ 「いじめをなくすために」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・いじめられている人を見かけたとき、どのように考えどのようにしたいかを考えさせる教材 ○ 「自分だったらどう思うか、三つの立場で考えてみよう」（特設ページ） ○ 「心をこめて一秒の言葉」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 礼儀」 ・心のこもった接し方について考えさせる教材

観点	(エ) 内容の表現・表記
	視点 ⑦巻頭、巻末等の取扱いの工夫
	方法 巻頭、巻末等の示し方

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「なにを学ぶのかな？」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「どんな学びをするのかな？」を見開き2ページで示している。 ○ 第2学年以上は、「ちょっと話し合ってみよう！」を1ページで示している。 ○ 低学年は、「コンピュータで学びを広げよう」中・高学年は、「デジタルコンテンツで学びを広げよう」を1ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「学習の記録」を2ページで設けている。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧表を4つの視点別で示し、関連するテーマや他教科等との関連等を記載している。 ○ 各学年、「考えるためのツール」を示している。第4学年以上に「心情円」を設けている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳で学習すること」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳ではこんな学び方をするよ」を見開き2ページで示している。 ○ 第3学年以上は、「道徳の学習をもっと広げよう」を1ページで示している。 ○ 第3学年以上は、「タブレットを学習に生かそう」を1ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「学習をふり返ろう」を3ページ、「1年間の学習を振り返ろう」を1ページで設けている。 ○ 各学年、教材に合わせて活用する「資料」を掲載している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、他の教科・領域・SDGsとの関連を記載している。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳が始まるよ」を見開き2ページで示している。 ○ 第2学年以上に、「みんなで気持ちをよく話し合うためのこつ」を見開き2ページで示している。 ○ 第2学年以上に、「道徳みちあんない」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年「学びの記録」を示している。 ○ 第3学年以上に、「学びの道具箱」を見開き2ページで示している。 ○ 第3学年以上に、日本の伝統文化等について2ページで掲載している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりを記載している。

【道徳】

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳のとびら」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳の学び方」を見開き2ページで示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材について、教材名を見開き2ページで示している。 ○ 別冊「道徳ノート」には、道徳ノートの使い方等を、目次の下に、見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「見つけた！ここにも道徳」を1ページで示している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、他教科等との関連を記載している。 ○ 各学年、別冊「道徳ノート」に、教科書の巻末の「見つけた！ここにも道徳」を見て、今までの道徳の学習とのつながりを考えて書くページを、1ページ設けている。
光 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「豊かな心」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳の時間は、こんな時間です」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「いろいろなやり方で考えてみよう」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「話し合ってみよう」を1ページで示している。 ○ 「まとめよう・ふりかえろう」を1ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的課題、他教科との関連性のある内容項目、他教科との関連等を記載している。 ○ 各学年、「ことばのたからもの」を見開き2ページで記載している。 ○ 各学年、折り込みで、「学びの足あと」を設けている。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年、「つながる私 広がる私」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、4つの視点ごとに、教材名等を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳の学習が始まるよ」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示している。 ○ 各学年、「つなげよう 広げよう」を1ページで設けている。

【道徳】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧教材の内容を理解させる工夫
方法	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例

	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「つながる・広がる」のマークを設定している。 ○ 中心的な発問をマークで示している。 ○ 「安心・安全」「情報モラル」「いじめ」について」「いのち」について」「じぶん」について」のマークを設定している。 ○ 鉛筆のマークを設定している。 ○ 低学年は「コンピュータで学びを広げよう」、中・高学年は「デジタルコンテンツで学びを広げよう」を設定し、二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 他教科等と関連付けた学習を取り入れていることを示している。 ○ 道徳的価値に迫る中心的な発問をマークで示している。 ○ 現代的な課題に取り組むユニットであることを示している。 ○ 自分の考えを書き込む欄を示している。 ○ 教材冒頭や「つながる・広がる」等に、教材に関する朗読やスライドショー、デジタルノート等のデジタルコンテンツにリンクする二次元コードを示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「特に大切にするテーマ」「問題や課題を解決する力を養う教材」「体験しながら考える教材」のマークを設定している。 ○ 中心的な発問をマークで示している。 ○ 「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」のマークを設定している。 ○ 「問題を見つける」「解決方法を考える①」「解決方法を考える②」「考えたことを生かす」のマークを設定している。 ○ キャラクター「マナビィ」を設定している。 ○ 「まナビリンク」のマークを設定し、二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主題の上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 「特に大切にするテーマ」は、「ユニット名」、「問題や課題を理解する力を養う教材」は「解決」、「体験しながら考える教材」は「たいけん」のマークを用いて、目次に示している。 ○ ねらいとする道徳的価値に関わる中心的な発問をマークで示している。 ○ 学習の手引きとして示している。 ○ 学習の手引きとして示している。 ○ 教材の冒頭や学習の手引きで、問い掛けを示している。 ○ 教材冒頭や教材の終わり等にあらすじや登場人物紹介、参考図書等が掲載されているWebサイトにリンクする二次元コードを示している。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「話とコラムをあわせて学習するまとまり」のマークを設定している。 ○ 中心的な発問をマークで示している。 ○ 第2学年以上に、教材冒頭に、内容項目の扉をマークで示している。 ○ 「コラム」「心を通わせよう」「考える準備たいそう」をマークで示している。 ○ 「考えよう・話し合おう」、第2学年以上に「つなげよう」のマークを設定している。 ○ キャラクター「こころん」「きらりん」、第2学年以上に「もやもやん」を設定している。 ○ 「家の人といっしょに考えてほしいこと」、第2学年以上に「SDGs」「国・社・理」等のマークを示している。 ○ 「学習の助けとなる資料」として、二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名の右上に、該当する4つの視点を示している。 ○ ユニット名とともに色付けをして、目次とユニットの冒頭に示している。 ○ 特に考えさせたい中心的な発問をマークで示している。 ○ 各内容項目を扉になぞらえ、各教材の冒頭に言葉を添えて示している。 ○ 現代的な課題について考えることができる内容やソーシャルスキルトレーニング等を示している。 ○ 学びのめあてや他教科等との関連等を示している。 ○ 児童の生活や学びをつなげたり考えたことを問い直したりする問いかけ等を示している。 ○ 持続可能な開発目標との関わり、他教科や特別活動などとの関わり等を示している。 ○ 教材冒頭やコラム等に、教材に関する朗読や動画、写真等のデジタルコンテンツにリンクする二次元コードを示している。

【道徳】

	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「ぐっと深める」をマークで示している。 ○ キャラクター「ココロウ」を設定している。 ○ キャラクター「あおい」「そうた」「ほのか」「えいと」を設定している。 ○ 「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」のマークを設定している。 ○ 「ふろく」をマークで示している。 ○ 「心のベンチ」のマークを設定している。 ○ 第3学年以上には、「SDGsで考えよう」のマークを設定している。 ○ 「二次元コード」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名の上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次の教材名の下と該当ページに「問題解決的な学習」や「体験的な学習」等を示している。 ○ 教材冒頭に、教材に入り込むきっかけとなる発問を示している。 ○ 教材の終わりに、「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の発問とともに示している。 ○ 教材の終わりに、ねらいに迫る発問等を示している。 ○ 補充教材を「ふろく」として示している。 ○ 道徳的価値について考えを広げ深めるためのコラムを、「心のベンチ」として示している。 ○ SDGsの視点で考えることを示している。 ○ 関連する動画や画像等の資料にリンクする「二次元コード」のマークを示している。
光 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点と、各学年で特に考えたいことをマークで示している。 ○ キャラクター「みらいさん」「ゆたかさん」「ドーミン」を設定している。 ○ 「いじめを生まない心」「命をかがやかせる」等の重点主題のマークを設定している。 ○ 「まとめよう」「ひろげよう」「かんがえよう」のマークを設定している。 ○ 「コラム」のマークを設定している。 ○ 「ことばのたからもの」のマークを設定している。 ○ 「学びの足あと」のマークを設定している。 ○ 各学年の目次に、Web上で見ることができる学習に役立つ情報をマークで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名の上に該当する4つの視点や各学年で特に考えたいことを示している。 ○ 気づきや考えるためのポイントや多様な感じ方・考え方等を示している。 ○ 現代的な課題や学年独自のテーマについて考えることを示している。 ○ 導入・展開・発展の発問を示している。 ○ 「お話とつなげて、考えを広げたり、深めたりしよう。」「みんなでやってみよう!」「情報モラル」「へこんでも立ち直る」「SDGs」を示している。 ○ 「みんなに知ってほしい、すてきな言葉」を示している。 ○ 授業の記録を書く欄を示している。 ○ 教材理解をサポートする写真や動画、Webサイトにつながる二次元コードを目次や教材名の下に示している。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「いのち」「みんなで」「みらいへ」をマークで示している。 ○ ハート、クエスチョンマーク、エクスクラメーションマークを設定している。 ○ キャラクター「明日香」「未来」を設定している。 ○ 「心のパスポート」「深めよう」のマークを設定している。 ○ 「考えよう」のマークを設定している。 ○ 鉛筆のマークを設定している。 ○ 現代的な課題のマークを設定している。 ○ 情報モラルのマークを設定している。 ○ Webにつながるマークを設定し、二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 内容項目が異なる2教材を連続して学ぶユニット教材を示している。 ○ 考えるきっかけを示している。 ○ 目次とともに、全学年の教材の登場人物として示している。 ○ 多面的・多角的に考える特設ページを示している。 ○ 各教材の最後に、発問を示している。 ○ 自分の気づきや思いを書き込む欄を示している。 ○ 教材名の下に、現代的課題へつなげて考えることを示している。 ○ 目次と教材ページ下に、情報モラルを扱った教材であることを示している。 ○ Web上で写真を見たり音声を聞いたりできる教材をマークで示すと同時に、巻頭に二次元コードを示している。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨考えを伝え合う活動の工夫
方法	話し合いを促す示し方と具体例

		第5学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
東 書		○ 巻頭「どんな学びをするのかな？」の「考える」に、話し合いの例等をイラストとともに示している。	○ 「自分の考えを話しましょう。」 「友達の考えをよく聞きましょう。」 ・わたしは、こう考えたよ。 ・なるほど、その考えもすてきだね。 ・みんなの考えを聞いてみたら、わたしの考えが……。
		○ 巻頭「ちょっと話し合ってみよう！」に、児童がミニ教材を用いて話し合う様子をイラストとともに示している。	○ お話を読んで、考えたことを話し合ってみましょう。 ・わたしとはちがうけど、その考えわかるなあ。 ・もし○○だったら……。
		○ 教材の終わりの「つながる∞広がる」の中に、話し合う活動を示している。	○ 教材名「どうすればいいんだ」 ・このお話の「ぼく」「ぼくら」に伝えたいことはありますか。話し合ってみましょう。
教 出		○ 巻頭「道徳ではこんな学び方をするよ」の中で話し合いを促している。	○ 「話し合って考えよう」 ・グループやクラスで話し合って、自分の考えと同じところやちがうところ、友達の意見を聞いて気づいたことなどをもとに、自分の考えを見直してみよう。
		○ 巻頭「道徳の学習をもっと広げよう」の中でデジタル機器を活用した言語活動例を示している。 ○ 教材の終わりの「学びの手引き」の「考えよう」「深めよう」「つなげよう」の中に、話し合いを促す発問を示している。	○ タブレットを学習に生かそう ・グループで意見を出し合う ○ 教材名「稲むらの火」 ・自分が五兵衛だったら、どのような行動をとったと思いますか。みんなで話し合いましょう。
光 村		○ 巻頭「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」の中に、話し合いのポイントや例等をイラストともに示すとともに、「やってみよう」を設けている。	○ 「友達と自分の考えを比べながら、話し合おう。」 ・ぼくは□□だと思ったよ。 ・□さんの考えを聞いて、△△という見方に気づいたよ。 ・□さんと、わたしの考えは、○○が同じだね。
		○ 「考えるヒント」のページに、話し合いのポイントを示したり、話し合いを促したりしている。	○ 「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を意識して、話し合ってみましょう。」
		○ 「考える」じゅんぴたいそう」のページで、話し合いを促している。	○ 「相手の考えをより深く理解したいときに、役に立つ言い方を集めました。話し合いで、使ってみましょう。」 ○ 「ふだん、あたりまえと思っていることに立ち止まって、「なんでだろう。」「どうしてかな。」と考えて、話し合ってみましょう。」
	○ 教材の終わりの「考えよう・話し合おう」「つなげよう」の中で、話し合いを促している。	○ 教材名「だれもが幸せになれる社会を」 ・だれもが幸せになれる社会とは、どのようなものなのか、また、そのような社会を実現するためには、どんなことが必要なのか、話し合いましょう。	

		第5学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
日 文	○ 巻頭「道徳の学び方」の「考える・深める」の中に、話し合いの具体的なポイントや状況等を二次元コードや写真とともに示している。	○ 「ぐっと深める」の中に、話し合いを促す発問を写真やキャラクターとともに示している。	○ 「気づいたことを友達と話し合って、自分の見方を広げ、考えを深めよう。」
	○ 教材の終わりの「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の中に、話し合いを促す発問を示している。	○ 別冊「道徳ノート」の中に、友だちの意見や話し合いの内容を記述する欄を設けている。	○ 「ガリユーのいう「ほんとうの自由」とは、どのようなものだろう。話し合いをとおして考えてみよう。」
			○ 教材名「これって不公平？」 ・①～④それぞれの場面について、「公平」か「不公平」かを考え、その理由について話し合おう。
光 文	○ 巻頭「道徳の時間は、こんな時間です」の「考えよう」の中に、話し合いの仕方やポイントをイラストとともに示している。	○ 巻頭「話し合って考えてみよう」では、話し合う活動をイラストで提示し、話し合いのポイントや対話ツールを示している。	○ 「話し合って考えてみよう」 ・いろいろな人の考えを聞いて話し合い、考えを広げたり、深めたりしましょう。
	○ 教材の終わりの「ひろげよう」に、教材における話し合いを促す発問を示している。		○ 「言葉のカード（対話ツール）の中から言葉を選んで話してみよう。」 ・こんないいことがあるよ ・こんなときに使おう ・言葉のカード（対話ツール）にはこんなものがあるよ
			○ 教材名「明日へ向かって」 ・災害やボランティアの実態について調べ、自分たちにどのようなボランティアができるか話し合ってみよう。
学 研	○ 巻頭「道徳の学習が始まるよ」の「考えよう」に、話し合いの仕方やポイントをイラストとともに示している。	○ 「心のパスポート」に、話し合いを促す発問を示している。	○ 「話し合おう」 ・いろいろなものの見方、感じ方、考え方にふれよう。
	○ 「深めよう」の「さがそう」に、話し合いのポイント等を示している。		○ 「これからの自分について考えよう」 ・あなたの考える「自由」はどんなものですか。話し合ってみましょう。 ・自分の考え ・友達の考え
			○ 「もっとかがやく自分になるには」 ・グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。

【道徳】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫
方法	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの数等と具体例

		第4学年		
		考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方	まとめや振り返りの数等	具体例
東 書	○ 巻末に、学期末に心に残った題名と内容を記述する欄を設けている。	○ 「学習の記ろく」 【記入欄6か所】	○ 「心にのこったお話について書きましよう。」 ・学期の終わりや、長い休みの前に書いてみよう。	
	○ 巻末に、学期末に、道徳で学んだことを振り返って記入する欄を設けている。	○ 「学習の記ろく」 【記入欄3か所】	○ 「どうとくの学習をふり返って、感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしたいことなどを書きましよう。」	
教 出	○ 教材の終わりに自己評価をマークや言葉で書く欄を設けている。	○ 「自己評価欄」 【35時間分】	○ ・しっかり考えられた ・新しく気づいたことがあった ・大切にしたいことがわかった	
	○ 巻末に、学習した教材で心に残ったことなどを記述するページを設けている。	○ 「学習をふり返ろう」 【記入欄6か所】	○ 「どんな教材が心に残ったかな。」 ・心に残った教材とその理由	
	○ 巻末に、年度末に、道徳で学んだことを振り返って記入する欄を設けている。	○ 「一年間の学習をふり返ろう」 【記入欄2か所】	○ 「どんなことを学習したかな。」 ・一年間の道徳の学習をとおして、感じたことや考えたことを書きましよう。 ・これからの生活に生かしていきたいことを書きましよう。	
光 村	○ 巻末折り込みに、学習を振り返って自己評価をシールで貼る欄を設けている。	○ 「学びの記録」 【35時間分】	○ 「道徳の授業でできたことを、記録ましよう。」 ○ 「次の三つのシールの中から、自分ができたと思うものを、はりましよう。」 ・たくさん考えることができた。 ・友だちの話をよく聞くことができた。 ・もっと考えたい、やってみたいことが見つかった。	

【道徳】

		第4学年	
考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方		まとめや振り返りの数等	具体例
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 別冊「道徳ノート」に、学習を振り返って自己評価をマークで描く欄を設けている。 ○ 別冊「道徳ノート」に、心に残った話と理由を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳ノート」 【39 時間分】 ○ 「ここまでの学習を振り返ってみよう」 【3 回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今日の学習はどうでしたか。◎・○・△をつけましょう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・しっかり考えた ・友達の見解から新しく気づいたことがあった ・これからたいせつにしたいことがわかった ○ 「心に残ったお話はありましたか。その理由も書きましょう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・心に残ったお話をすることをおうちの人に教えてあげよう。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に、学習した日付、教材番号を記入する欄を設けている。 ○ 巻末に、学期末や年度末に、道徳で学んだことをまとめて記入する欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの足あと」 【36 時間分】 ○ 「学びの足あと」 【3 回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の記録をつけましょう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・授業を受けた後の気持ちを矢印で表しましょう。 ・そのような矢印にしたわけや、分かったこと、感じたこと、やってみたいと思ったことを書きましょう。 ・どうしようかなと思っていることを書いてもいいよ。 ○ 「道徳で学んだことを、まとめましょう。」
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に、道徳の学習を通して、心に残ったお話や出来事、心に残った言葉、人に伝えたい言葉などを記入し、1年間の学びを振り返るページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「つなげよう 広げよう」 【記入欄3箇所】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の学習をして、心に残ったお話や出来事を書こう。」 ○ 「心に残った言葉、人に伝えたい言葉を書こう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・心に残った友だちや先生の言葉 ・友だちや家の人に伝えたい言葉 ○ 五年生になる自分へメッセージをおくろう。